ひとり寝の子守歌

詞·曲】加藤 登紀子

おなごを抱くようにひざっ小僧が寒かろう一人で寝る時にゃよー

歌ってくれるだろう一人で寝る時にゃよ

ー緒に歌えよー天井のネズミが暖めておやりよ

想い出が濡らすだろう一人で寝る時にゃよー

人恋しさにを

トントン戸を叩き、お前を呼ぶだろう一人で寝る時にゃよー、浮気な夜風が

一人もんもいいもんだと教えてくれるだろう一人で寝る時にゃよー 夜明けの青さが

ラララララ・・・・・・ー人寝る時はよぉー

んんんん・・

ころ う 尽

一緒 9 でくれるだろうなで寝る時にやよったで

とかがられる い出が濡らすだろう とみがら枕を 人で寝る時にゃよー

ひとり寝の子守歌

詞·曲】加藤 登紀子

浮気な夜風が一人で寝る時にゃよ トン トンア を 可 き

お前を呼ぶだろう

え 明 んくれ 寝 0 る時に もいだが ろ や も んだと う

End

ううううう・んんんんのもに

お